



# CDR Analysis and Reporting の基本操作

Cisco Unified CallManager Serviceability の CDR Analysis and Reporting (CAR) ツールは、QoS (Quality of Service)、トラフィック、ユーザのコール量、課金、およびゲートウェイに関する情報のレポートを生成します。



**(注)** CAR では、iDivert コール（コールをボイス メッセージング システムに転送する機能）は処理されず、通常のコールとして扱われます。iDivert 機能を起動した後、コールの一部が正しいパーティに対して課金されないことがあります。

この章は次の内容で構成されています。

- [CAR のアクティブ化 \(P.2-2\)](#)
- [CDR のサービス パラメータの設定 \(P.2-3\)](#)
- [CAR 管理者、マネージャ、およびユーザの設定 \(P.2-4\)](#)
- [CAR へのログイン \(P.2-5\)](#)
- [CAR からのログアウト \(P.2-6\)](#)
- [CAR マニュアルのオンライン ヘルプへのアクセス \(P.2-6\)](#)
- [関連トピック \(P.2-6\)](#)



**(注)** CAR のレポートは、PDF 形式または CSV 形式で表示できます。PDF 形式では、CAR レポート内のレコード数が 5,000 に制限され、CSV 形式の場合は 20,000 レコードに制限されます。レコードの数がこれらの上限値を超える場合は、結果が切り捨てられていることを通知するメッセージが表示されます。切り捨てが発生することを避けるには、日付範囲を小さくしてレポートを生成します。PDF 形式を使用している場合は、代わりに CSV 形式を使用します。

## CAR のアクティブ化

CAR は一連の補完サービスで構成されており、これらのサービスは、Cisco Unified CallManager Serviceability の Service Activation ウィンドウでアクティブにすることができます。CAR を Cisco Unified CallManager Serviceability の Tools メニューから起動できるようにするには、次の手順に従って、CAR のサービスをあらかじめアクティブにしておく必要があります。

### 手順

---

**ステップ 1** Tools > Service Activation を選択します。

Service Activation ウィンドウが表示されます。

**ステップ 2** Server ドロップダウン リスト ボックスから、クラスタの最初のノードを選択します。

選択したサーバのサービス名、サービス タイプ、およびサービスのアクティベーション ステータスがウィンドウに表示されます。



---

(注) CAR のサービスをアクティブにするのは、最初のノード上のみです。このノードは、Cisco Unified CallManager データベースの配置場所になります。

---

**ステップ 3** 次の CDR サービスの隣にあるチェックボックスをオンにします。

- Cisco CAR Scheduler
- Cisco CAR Web Service
- Cisco SOAP-CDROnDemand (オプション) HTTPS または SOAP インターフェイスを通じて CDR データにアクセスするサードパーティ製の課金アプリケーションを使用している場合は、このサービスをアクティブにします。



---

**ヒント** CDR サービスの隣にあるチェックボックスをオフにし、**Save** をクリックしてサービスを無効にします。Cisco CAR Web Service を無効にすると、Cisco Unified CallManager Serviceability の Tools メニューから、CAR が削除されます。

---

**ステップ 4** 必要な変更が完了したら、**Save** をクリックします。

---

### 追加情報

P.2-6 の「[関連トピック](#)」を参照してください。

## CDR のサービス パラメータの設定

CAR は、CAR および CDR のレポートを生成するために、CDR レコードと CMR レコードに含まれているデータを利用しています。CAR では、CDR リポジトリ ノード（最初のノード）上にあるフラットファイルから CDR レコードを入手できることが要件になります。CDR レコードがフラットファイルに書き込まれるようにするには、次の Cisco CallManager サービス パラメータを設定する必要があります。

- CDREnabled



(注) クラスタ内のすべてのサーバで、このパラメータをイネーブルにします。

- CallDiagnosticsEnabled



(注) サービス パラメータ CDREnabled と CallDiagnosticsEnabled のデフォルト値は、ディセーブルです。このため、CDR レコードを CAR で利用できるようにするには、これらのサービス パラメータをイネーブルにする必要があります。

サービス パラメータの設定については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーション ガイド』を参照してください。

## CAR 管理者、マネージャ、およびユーザの設定

どのユーザでも CAR 管理者になることができますが、Cisco Unified CallManager の管理ページで、当該のエンドユーザを Cisco CAR 管理者ユーザグループ (Standard CAR Admin Users) に追加する必要があります。CAR 管理者として認識されたエンドユーザは、CAR システムに対するフルコントロール権限を持っています。管理者はシステムとレポートに関連するすべてのパラメータを変更できます。CAR 管理者として認識されていないエンドユーザは、指定された CAR レポートにのみアクセスできます。



### ヒント

CAR を使用するには、少なくとも 1 名の CAR 管理者が Cisco Unified CallManager データベースに存在している必要があります。

CAR にログインするには、管理特権を持っている CAR ユーザを CAR にあらかじめ 1 名以上設定しておく必要があります。CAR 管理者、マネージャ、およびユーザを設定するには、次の手順を実行します。

### 手順

- ステップ 1** Cisco Unified CallManager の管理ページで、[ユーザ管理] > [エンドユーザ] を選択して、エンドユーザを追加します。この作業を実行する方法については、『Cisco Unified CallManager アドミニストレーションガイド』を参照してください。マネージャを作成する場合は、[マネージャのユーザ ID (Manager User ID)] フィールドに必ず値を入力してください。



### ヒント

CAR の使用を開始する前に、管理特権を持つ CAR ユーザを CAR に少なくとも 1 名設定しておくことをお勧めします。CAR 管理者を設定していない場合、および別の CAR 管理者を設定する場合は、次の手順に進みます。

- ステップ 2** [ユーザ管理] > [ユーザグループ] を選択します。

[ユーザグループの検索と一覧表示 (Find and List User Groups)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 3** Standard CAR Admin Users をクリックします。

[ユーザグループの設定 (User Group Configuration)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 4** [グループにエンドユーザを追加] ボタンをクリックします。

- ステップ 5** グループに追加するユーザのチェックボックスをオンにし、[選択項目の追加] をクリックします。

ユーザが、[グループ内のユーザ (Users in Group)] グループボックスに表示されます。



### ヒント

CAR 管理特権を無効にするには、[グループ内のユーザ (Users in Group)] グループボックスに含まれているユーザのチェックボックスをオンにし、[選択項目の削除] をクリックします。警告メッセージが表示されたら、OK をクリックします。管理特権は、ただちに無効になります。

### 追加情報

P.2-6 の「関連トピック」を参照してください。

## CAR へのログイン

CAR にログインするには、次の手順を実行します。

### 始める前に

次の作業を実行します。

- CAR にログインする前に、最初のノード上で Cisco CAR Web Service と Cisco CAR Scheduler サービスが動作していることを確認します。これらのサービスをアクティブにすると、CDR Analysis and Reporting オプションが Cisco Unified CallManager Serviceability の Tools メニューに表示されます。サービスをアクティブにする方法については、P.2-2 の「CAR のアクティブ化」を参照してください。
- P.2-4 の「CAR 管理者、マネージャ、およびユーザの設定」の説明に従って、CAR 管理者、マネージャ、およびユーザを設定します。

### 手順

---

**ステップ 1** CAR にログインするには、次のいずれかの手順を実行します。

- CAR システムの管理者のみ：Cisco Unified CallManager Serviceability で、**Tools > CDR Analysis and Reporting** を選択します。
- CAR のユーザまたは管理者：Web ブラウザで、**https://<Server-ip/name>:8443/car/Logon.jsp** と入力します。

**ステップ 2** CAR のログイン ウィンドウが表示されたら、User Name フィールドにユーザ ID を入力します。

**ステップ 3** Password フィールドに、パスワードを入力します。

ユーザ ID またはパスワードが無効である場合は、「Invalid Logon. Either the User Name or the Password entered is invalid. Click here to try again.」というメッセージが表示されます。リンクをクリックし、ユーザ ID とパスワードをもう一度入力して、**OK** をクリックします。

CAR のウィンドウが表示されます。

---

### 追加情報

P.2-6 の「関連トピック」を参照してください。

## CAR からのログアウト

この項では、CAR からログアウトする方法について説明します。

### 手順

---

**ステップ 1** CAR のウィンドウで、**Logout** を選択します。

**ステップ 2** 「For security reasons, it is advisable to close the browser window on Logout. Do you want to close the browser window?」というプロンプトメッセージが表示されます。CAR のウィンドウ (ブラウザ) を閉じるには、**OK** をクリックします。[キャンセル] をクリックすると、CAR の Logon ウィンドウが表示されます。

---

### 追加情報

P.2-6 の「[関連トピック](#)」を参照してください。

## CAR マニュアルのオンライン ヘルプへのアクセス

CAR マニュアルのオンライン ヘルプにアクセスするには、**Help> Contents and Index** (目次) または **Help> For this page** (表示されているページ固有の情報) を選択します。

### 追加情報

P.2-6 の「[関連トピック](#)」を参照してください。

## 関連トピック

- [CAR のアクティブ化 \(P.2-2\)](#)
- [CAR 管理者、マネージャ、およびユーザの設定 \(P.2-4\)](#)
- [CAR へのログイン \(P.2-5\)](#)
- [CAR からのログアウト \(P.2-6\)](#)
- [CAR マニュアルのオンライン ヘルプへのアクセス \(P.2-6\)](#)
- [CDR Analysis and Reporting の概要 \(P.1-1\)](#)
- [CAR システムの設定 \(P.3-1\)](#)
- [CAR レポートの設定 \(P.4-1\)](#)
- [CAR ユーザ レポートの設定 \(P.5-1\)](#)
- [CAR システム レポートの設定 \(P.6-1\)](#)
- [CAR デバイス レポートの設定 \(P.7-1\)](#)
- [CDR 検索の設定 \(P.8-1\)](#)
- [CDR/CMR レコードのエクスポートの設定 \(P.9-1\)](#)
- [CAR レポートの結果 \(P.10-1\)](#)